

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

| |
|---|
| <研究課題名> JALSG ALL202 研究および JALSG Ph+ALL208 研究で収集された Ph+ALL 遺伝子試料を対象としたゲノム解析研究 (JALSG Ph+ALL-GWS) |
| <研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科 (研究責任者) 八田善弘 |
| <研究期間> 承認日 ~ 令和 8 (西暦 2026) 年 12 月 31 日 |
| <研究の目的と意義> フィラデルフィア染色体陽性成人急性リンパ性白血病 (Ph+ALL) の治療反応性が不良な原因となる遺伝子異常、及び重篤な有害事象の発症につながる遺伝子多型性を調べるために行います。この研究の成果が Ph+ALL 再発の原因の解明や、治療反応の予測、重大な副作用の発生の予測に役立つ可能性があります。 |
| <利用する試料・情報の項目> 骨髄検査の際に、医学研究のために利用することに同意をいただき、JALSG 検体保存センターにすでに保存されている検体を用いて研究を行います。 |
| <対象となる方> 当院で JALSG Ph+ALL202 研究、JALSG Ph+ALL208 研究、JALSG ALL202 研究に参加され、Ph+ALL と診断された患者さんが対象になります。 |
| <研究の方法> 上記の臨床試験にご同意いただいている方は、治療開始前、治療経過中の寛解期に白血病細胞や正常細胞から抽出した遺伝子を保存させていただいております。今回の研究では、新しい遺伝子解析技術を用いて、抽出されている遺伝子全ての異常を網羅的に調べさせていただく予定です。調べられた遺伝子の異常の有無と、治療への反応性、副作用の重症度などの臨床情報を合わせて解析し、遺伝子の異常とこれらの関係を調べます。解析にあたっては匿名化をおこない遺伝子が誰のものか簡単には分からない状態にして解析します。 |
| <お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1) 血液・腫瘍内科 氏名: 八田善弘 電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2403 (PHS) 8011 |